

この教材を使う皆さんへ

日本語交流活動教材『はじめてのにこにこ』は、『にこにこ』の入門版として、日本語でのおしゃべりを楽しみ、交流を深めることを目的に作りました。そのために、まず、どんどん声を出しましょう。テキストの日本語がすらすら言えるようになったら、次は、皆さんのことをどんどん話してください。日本語を勉強する皆さんと、そのお手伝いをするボランティアの皆さんと、みんなでたくさん話しましょう。

皆さんの日本語教室が笑顔でいっぱいになりますように。

『はじめてのにこにこ』教材作成委員一同



ボランティアの皆さんへ

『はじめてのにこにこ』は、地域日本語教室で入門期から初級前半までの学習者(ほとんど日本語がわからない人から、少しわかる人)とボランティアがいっしょに活動するためのテキストです。文型・文法を中心とした学習ではなく、各ユニットのテーマについて学習者が「自分のことを話す」活動を通して、ことばや文法が習得できるようになっています。

各ユニットには、登場人物の「語り文」といくつかの活動が示されています。学習者は、「語り文」を聞いたり、それを何度も言う練習をしたり、ボランティアの質問に答えたり、いっしょに学習している友達とやり取りしたり、「語り文」をまねして話したり、といった活動を経て、最後には自分のことが話せる(これがゴールです)ようになります。ボランティアの役割は、何かを教えることではなく、ステップに沿ってゴールを目指す学習者の活動を、「手伝う」ことです。

入門～初級期の学習者がまとまりのある話をするのはなかなか難しいことです。このテキストには、学習者の皆さんが、まずは「まねる」ことから始め、回を追うごとにいろいろな場面で自分の話ができるようになれば、との思いが詰まっています。活動を終えたときには、「こんなに話せた!」「もっと話したい!」とにこにこ笑顔になっていることでしょう。笑顔いっぱいの教室を、参加者の皆さんでいっしょに作っていきましょう。